

安全で安心なうつくしいまちづくりの推進計画(防災・安全) (事業区分:道路事業)

1. 長野県の現状と課題

【現状】

○街路は、都市部の「ひと」「もの」を運ぶ重要な役割とともに、安全な歩行空間の創出や災害の拡大を遮断する都市防災機能を有しているが、未整備区間では、危険な歩行環境や災害時の延焼拡大の危険性など、都市の安全性を低下させている。

【課題】

○長野県の街路整備率は、46.5%(H26時点)であり、全国平均(67.6%)を大きく下回っており、効果的かつ効率的に街路事業を整備推進することが必要である。

また、安全な通学路の確保及び避難路の整備推進が求められている。



歩道のない通学路



幅員の狭い道路

2. 計画の目標

長野県の都市計画区域における人口集中地区の通学路及び避難路等の安全度を向上する。

3. 事業の内容

【計画の期間】平成24年度～平成28年度(5年間)

【事業実施主体】長野県他13市町村

【計画の成果目標】

計画の成果目標	H23(現況値)	H28(目標値)
まちなかの危険な通学路の解消※1	58%	61%
まちなかの防災環境軸(幅員15m以上の街路)の街路整備※2	54%	58%

※1(危険な通学路の解消)=Σ(通学路整備済み延長)/(通学路都市計画道路決定延長)

※2(防災環境軸の街路整備)=Σ(防災環境軸整備済み延長)/(防災環境軸都市計画道路決定延長)

【事業の主な内容】

基幹事業 : 街路事業31箇所

効果促進事業: 都市計画道路網の計画検討、関連区間用地買収費

【箇所数と事業費】

	県	市町村	計
基幹事業	21箇所137.8億円	10箇所 45.0億円	31箇所182.8億円
関連社会資本整備事業	0箇所 0.0億円	0箇所 0.0億円	0箇所 0.0億円
効果促進事業	2箇所 1.9億円	11箇所 0.7億円	13箇所 2.6億円
計	23箇所139.7億円	21箇所 45.7億円	44箇所185.4億円

※事業費は精算額としているため、整備計画の事業費とは合わない場合があります

4. 事後評価の結果

【目標値の達成状況】

計画の成果目標	H28(目標値)	H28(実績値)
まちなかの危険な通学路の解消	61%	61.3%
まちなかの防災環境軸(幅員15m以上の街路)の街路整備	58%	59.0%



安全な通学路の確保

■事業効果の発現状況

○北天神町古吉町線等の整備を推進した結果、通学路の歩道整備が促進され、安全な都市内歩行空間の創出に寄与した。

○下山妙琴原線等の整備を推進した結果、都市内の広幅員街路整備が促進され、延焼遮断帯の骨格の形成および避難路の充実に図られた。

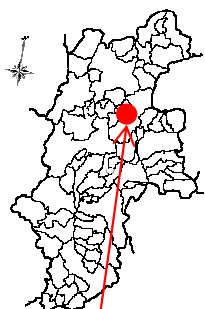
5. 評価と今後の方針

○都市部の歩道未整備箇所や狭隘な緊急輸送路を優先的に整備し、円滑な交通や安全な歩行空間を確保することにより、快適で安心な都市空間を創出したと評価できる。

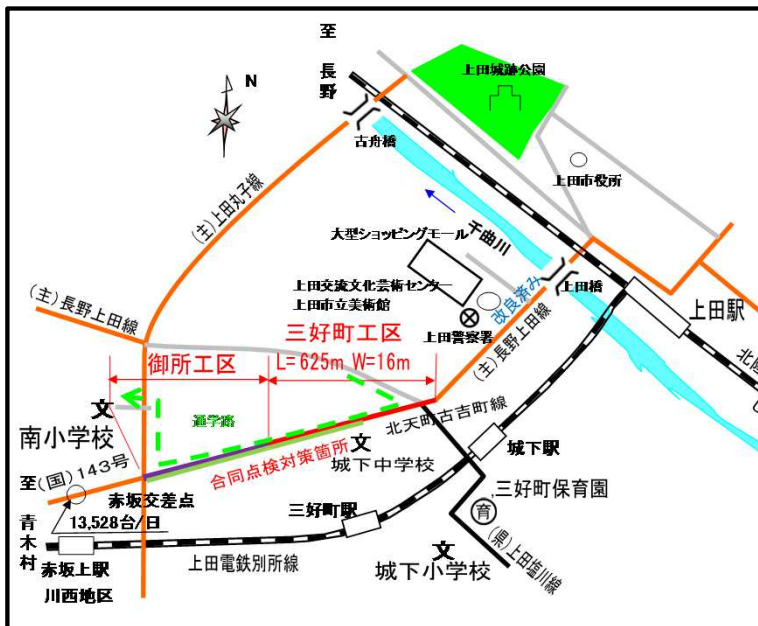
○今後は、引き続き、歩道未整備区間を優先的に整備を進めると同時に、都市部の防災機能を向上させるため、緊急輸送路の無電柱化を推進していく。

整備効果事例

街路事業 (都)北天神町古吉町線 上田市 三好町



事業箇所



【整備効果】

- ◆安全な通学路を確保
- ◆まちなか居住が促進



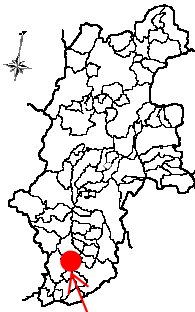
整備前



整備後



街路事業 (都)下山妙琴原線 飯田市 鼎



事業箇所



【整備効果】

- ◆安全な道路を確保
- ◆公共空間をイベント活用



整備前



整備後

